

◇ 同好会「歴史を歩く」 11月21日(木) 雨 参加者17名+同伴者1名

～都心の高輪で「物流」&「消防」の歴史と現状を学びました～

都営大江戸線練馬駅に集合した18名が予定通りの時間に出発しました。

雨が予想よりも降っていたことなどもあり、物流博物館には予約時間に10分以上遅れて到着。

同博物館には、2024年度企画展「鉄道古写真展—鈴木直利氏コレクションから—」の開催に合わせて見学を計画しました。鈴木直利氏は鉄道関係資料のコレクターで、本展では同氏のコレクションの中から、関東近郊とその周辺の鉄道古写真類約100点を選んで、鉄道の歴史と物流の歴史の2つの視点から紹介しています。

展示構成として

第1章 東海道本線 第2章 高崎線・信越本線 第3章 東北本線 第4章 常磐線 第5章 磐越西線 第6章 山手貨物線 第7章 中央本線 第8章 東武鬼怒川線

と分けて、古写真をメインに錦絵も展示してありました。

中でも近くの高輪ゲートウェイ駅近くで発見された「高輪築堤跡※」の古写真と錦絵は大変興味深く、学芸員に説明していただきました。※明治5(1872)年にわが国初の鉄道が開業した際に、海上に線路を敷設するために築かれた鉄道構造物です。平成31(2019)年4月、品川駅改良工事の際に石垣の一部が発見されました。

昼食は物流博物館から数分の京急ショッピングプラザウイング高輪で、各々和・洋・中華等10数店の中からお好みの昼食をゆっくり楽しみました。昼食後まだ小雨が降っていましたが、高輪消防署二本榎出張所に向かいました。建物は昭和8(1933)年12月に落成したもので「東京都選定歴史的建造物」に選定されており、そのレトロな外観が灯台のような形を

していて街のシンボリックな存在となっております。今も現役の消防署として活躍しているそうです。

3階には8本の梁が中心に集まる独特の構造で、「ドイツ表現派」と呼ばれるデザインの講堂があり昔の消火用具などを展示しており、消防士に説明していただきました。

物流博物館は見学時間が十分取れず、事前の検討が不十分だったと反省しています。



物流博物館入口



物流博物館企画展



ウイング高輪



高輪消防署二本榎出張所

<報告：新井 建男>